

秋の全国交通安全運動にあわせ兵庫県、大阪府で 交通安全イベントに出展

～反射材の活用や自転車事故への備え、交通事故多発交差点を周知～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：岡田 英明・損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員）では、秋の全国交通安全運動にあわせ、兵庫県および大阪府で開催された交通安全イベントに出展し、反射材の活用や自転車事故への備え、交通事故多発交差点の周知などを通じて、来場者に交通安全と交通事故防止を呼びかけました。

9 月 18 日（金）は、あまがさきキューズモール（兵庫県尼崎市）で開催された「秋の全国交通安全運動 セレモニー」に出展しました。

当協会のブースでは、来場者に反射材を配布し、夕暮れ時や夜間における反射材の有効性を紹介するとともに、全国の交通事故多発交差点ワースト 5 に入る交差点を含む、兵庫県内の交通事故多発交差点ワースト 5 を案内しました。身近な場所にも交通事故が多発している交差点があることを知っていただき、安全確認を徹底して通行するよう呼びかけました。

また、9 月 23 日（水）は、府営浜寺公園（大阪府堺市）で開催された「2026 おおさか交通安全ファミリーフェスティバル」に出展しました。

当協会のブースでは、「チャレンジ！自転車クイズ」と題し、夜間における反射材の効果、自転車事故で高額な損害賠償責任を負う可能性、大阪府における自転車保険への加入義務をテーマとしたクイズを実施しました。来場者に、楽しみながら自転車の交通安全や事故への備えについて理解を深めていただき、クイズ回答者には反射材を配付しました。

あわせて、全国の交通事故多発交差点ワースト 5 に入る交差点を含む、大阪府内の交通事故多発交差点ワースト 5 を紹介し、事故が多発している交差点では特に周囲の状況を確認し、安全に通行するよう注意を呼びかけました。

両会場では、反射材の活用を呼びかけるとともに、地域の交通事故多発交差点を具体的に紹介することで、来場者に身近な道路に潜む交通事故のリスクについて考えていただく機会となりました。また、大阪会場では自転車クイズを通じて、自転車事故への備えの重要性についても啓発しました。

当支部では、今後も関係機関・団体と連携し、反射材の活用促進、自転車事故への備え、交通事故多発交差点の周知などを通じて、地域の交通事故防止に向けた啓発活動を継続してまいります。



会場の様子
（兵庫県）



啓発活動の様子
（兵庫県）



会場ステージの様子
（大阪府）



啓発活動の様子
（大阪府）